

桜川市移住体験ツアー開催業務に係る
公募型プロポーザルに関する質問に対する回答

令和 8 年 6 月 16 日

番号	質問内容	回答
1	仕様書の業務内容(1) ウ ターゲット「移住後の生活を持っていない 20 代から 40 代」とありますが、移住後の生活を持っていないとは、具体的にどのような意味ですか。	当市の意図として、「移住後の生活に関する計画やビジョンを具体的に持っておらず、現に居住している地域から移住したいと漠然と考えている 20 代から 40 代」としています。 本回答との整合性を図るため、仕様書内の該当箇所の記載を「移住後の生活に関する計画やビジョンを具体的に持っていない 20 代から 40 代」に修正します。
2	「ただし、当市の人口動態や地域の特性を考慮した上で、上記以外の提案を妨げるものではない。」とは、どのようなことを指しますか。	仕様書「目的」に掲げるとおり、本事業は「将来的な移住や関係人口創出」「当市の認知度向上及び当市への移住に関する関心を喚起」を目的として実施するものです。ターゲットとしてお示しした内容は、目的達成及び当市の人口動態を考慮して想定したものでありますが、効果的に目的を達成することが期待できるターゲット設定（移住検討度合い、年代等）があれば、お示ししたものにこだわらずにご提案いただくことを可能としています。
3	ツアーで使用するバスの手配は、市側で用意していただくことは可能でしょうか。	バス等の移動手段については、原則として受託者が手配することを想定しています。 ただし、当市側でバス等の移動手段を手配することにより本業務の目的を効果的に達成できると認められる場合はこの限りではありません。移動手段を当市側から提供する場合は、当市職員が運転する公用車を使用、受託者 1 名が同乗することとし、輸送可能な参加者は最大 8 名となるため、仕様書に提示する人数との差異が生じることにご留意ください。また、本業務契約後にツアー参加費を設定する際、その内訳に運送に係る経費が含まれていないことを書面でご提示いただきます。
4	参加者の集合場所に関して、桜川市近郊の指定場所とした場合、市の公用車等で移動の協力を仰ぐことは可能でしょうか？	質問番号 3 の回答のとおりです。

番号	質問内容	回答
5	参加対象者の「SNS で発信できる者」について、SNS の媒体や最低フォロワー数などの詳細な指定はありますか？またこの条件が含まれている意図を伺いたいです。	ご質問前段に関して、詳細な指定はありませんが、受託者と協議の上、参加者募集の際に詳細な条件を設定することは可能です。 ご質問後段に関して、参加者自らが移住体験ツアーに参加した経験に基づく発信を行うことにより、当事者（移住検討者）から温度感のある情報発信がなされることで、ツアー参加者以外が当市及び当市が実施する移住支援事業を認知する機会を創出することが期待できることを想定して記載したものです。